

協力隊インタビュー
(松原隊員：3年目)

1. 協力隊について
① 協力隊になろうと思ったきっかけは？
宇佐市出身の夫の勧めで応募しました。
② 現在どんな活動をしているの？
院内5地区のまちづくり協議会の活動支援です。
③ 活動中のやりがいを教えて！
地域の方たちに自分のアイデアを伝え、それが形になったときや、イベントなどで地域の方たちやお客様の喜ぶ顔が見れたときです。
④ 活動中に困ること、大変なことはある？
まちづくり協議会のメンバーと、市役所職員さんとの考え方に違いがあるときに協力隊としての立ち位置が難しくなります。 協力隊の任期は3年ですが、その間にも市職員の配置換えや協議会の中でもメンバーの入れかわりなどがあるため、引継ぎがうまく行われていない場合かなり苦労することがあります。
⑤ 任期後の展望は？
私のように、移住して近くに頼れる人がおらず困っているお母さんたちを救えるような子育て支援の活動をしていきたいと思っています。
⑥ 副業はどんなことをしている？
副業はしていませんが、宇佐市の子ども広場のボランティアスタッフとして活動しています。
⑦ 宇佐市の協力隊に求められる能力は？
協調性とコミュニケーション能力は必須だと思います。
⑧ 協力隊になる前の経歴は？
インフォメーションや販売などの接客業をしていました。

2. 宇佐市について
① なぜ宇佐市を選んだの？
結婚して夫が地元に戻ると決めていたからです。
② 宇佐市の住み心地は？
子育てが始まってからは住みやすく感じています。
③ 家賃の補助など現在の住環境は？
夫の実家の持ち家に住んでいるので補助は受けていません。
④ 移住前と移住後のギャップはあった？
公共交通機関を使うことがなくなったので、車なしでは生活できず運動不足になりました。
⑤ 宇佐市で生活する上で車は必要？
必ず必要です。
3. 未来の協力隊員にメッセージを！
<p>やりたいことが見つからないけど、都会から出たい人にお勧めです。</p> <p>やりたいことが明確に決まっている人は、その活動がまちづくり協議会の活動と結び付けられるのか、相談してから決めると着任後にギャップが少ないのではないかと思います。</p> <p>あたたかく迎え入れてくれる方たちが多いので、安心して来てほしいです。</p>